

福祉サービス第三者評価事業調査項目【・内容評価基準】 <自己評価結果 育精福祉センター 児童部門 令和5年度>

山梨県福祉サービス第三者評価事業 評価基本項目			内容評価基準					
評価分類		NO	評価項目	全体評価結果			評価・課題・特記事項	
A-1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	A①	①利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	A	B	C	自己選択、自己決定ができるよう、しっかり話し合いを行い意思を尊重し決定している。定期的に利用児自治会を開催し、ルール等の見直しを行っている。	
	(2) 権利侵害の防止等	A②	②利用者の権利侵害の防止に関する取組が徹底されている。	A	B	C	権利擁護のため、虐待等研修をしたり虐待防止委員会を設置し、毎週会議を開催し検討している。虐待防止に関する取り組みとして、マニュアルだけでなく、虐待防止チェックリストを行い課題について話し合い、早急に取り組んでいる。	
A-2 生活支援	(1) 支援の基本	A③	①利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	A	B	C	エンパワメントを高められるよう、特性に応じた支援を行っている。一人ひとり自律、自立のためにしっかり計画を立て、それに基づき支援を行っている。	
		A④	②利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	A	B	C	利用児の年齢に応じた言葉かけや具体的な例を用いて、理解できるようにコミュニケーションを取っている。	
		A⑤	③利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	A	B	C	適切なアドバイスを送ることや、相談しやすいよう場を設けている。またコミュニケーションを取る中で、不安の軽減が図れるよう傾聴に努めている。職員一人ひとり対応についての差が感じられるため、スキルアップが課題。	
		A⑥	④個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	A	B	C	外出支援に関しては、コロナ等の感染症の関係で難しい時があったが、希望を聞き敷地内にてレクリエーション、調理実習等の活動の場を提供している。	
		A⑦	⑤利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	A	B	C	支援方法や関わり方について、適宜話し合いを行い特性に応じた支援を行っている。課題が出てきた場合、すぐに解決策について職員間で話し合いの場を設けている。	
	(2) 日常的な生活支援	A⑧	①個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	A	B	C	感染症の観点から、計画に基づいた支援が提供できなかった面があった。食事について、選択メニューがあり、特性や健康に合わせた食事の提供を行っている。	
	(3) 生活環境	A⑨	①利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	A	B	C	浴室やトイレ等、完全にバリアフリー化されていない箇所もあり、改修が必要。ただし、空気清浄機等、機器に関しては、適宜新しいものを取り入れている。	
	(4) 機能訓練・生活訓練	A⑩	①利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	A	B	C	医師や看護師等専門職の指導のもと、特性や発達状況に応じ、機能訓練や生活訓練を行っている。外部の医療機関を利用し、機能訓練を実施している。	
	(5) 健康管理・医療的な支援	A⑪	①利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	A	B	C	検温を含め、一人ひとりの健康状態の把握、体調確認をしっかり行い、体調不良時には迅速な対応が図れている。	
		A⑫	②医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	A	B	C	手順やマニュアルが作成、整備されており、安全管理に対する体制が整っている。感染症の研修等、職員への個別指導を定期的に行っている。	
	(6) 社会参加、学習支援	A⑬	①利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	A	B	C	コロナ等の感染症の関係で以前のような社会参加は今年度も難しかった。	
	(7) 地域社会への移行と地域生活の支援	A⑭	①利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	A	B	C	成人寮と連携を図り、体験の機会を提供している。	
	(8) 家族等との連携・交流と家族支援	A⑮	①利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	A	B	C	交流する機会については、コロナ等の感染症があった為十分に確保できなかった。連携については、利用者の意向を尊重し対応している。	
	A-3 発達支援	(1) 発達支援	A⑯	①子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	A	B	C	障害の特性や発達の過程に合わせた支援を行っている。行動障害支援事業に取り組んでおり、精神科医や心理士と連携を図り、精神面の安定に努めている。
	A-4 就労支援	(2) 就労支援	A⑰	①利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	A	B	C	施設等で実施していないが、支援学校と連携を図り移行に向けて協力を行っている。
A⑱			②利用者に応じて適切な仕事内容となるような取組と配慮を行っている。	A	B	C	施設等で実施していないが、支援学校と連携を図り移行に向けて協力を行っている。	
A⑲			③職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	A	B	C	施設等で実施していないが、支援学校と連携を図り移行に向けて協力を行っている。	